

中通り地区

# 読書支援者育成事業研修会

目的：学校や図書館で活躍する読書推進ボランティアの専門的な知識や技能の向上を図る。

実施日：令和元年9月7日（土） 9：50～12：00

場所：福島県立図書館（福島市森合字西養山1番地）

参加者：73名

## 第1部

10:00～11:10

### 講義・演習「どんな子にも本を届けるために

～バリアフリー絵本について学んでみませんか～

公認心理師 女子美術大学非常勤講師

バリアフリー絵本研究会主宰 **攪上 久子 氏**

講師の攪上氏は、日本国際児童図書評議会の活動として、バリアフリー絵本展の全国巡回を展開されるなど、バリアフリー絵本の普及のために活動されています。研修会では、バリアフリー絵本の種類や内容、バリアフリー絵本の意義などについて学びました。

#### ○ 講義

##### 1. はじめに

- ・ 「どんな子にも本の喜びを届けるためには、何が大切なのだろう」「目の前にいるその子に、本をどう読んだら楽しんでもらえるか」と考えてほしい。
- ・ 障がい児に向き合うのではなく、ひとりひとりに向き合う。本の障害（バリア）は子どもではなく、本の方にある。本の障害（バリア）を超える読書を。

##### 2. バリアフリー絵本とは…4つの種類がある

###### ① FOR（その子のために）

- ・ その子のための本、触る本、優しく読めるLLブック、CD付きの電子図書など

###### ② ABOUT（障害が書かれている）

- ・ 障がいについて理解する本、障がいについて説明する本など

###### ③ BY（当事者によって作られている）

- ・ 障がい者が書いた本など

###### ④ WITH（見いだす）

- ・ 障がい者といっしょに読む本

##### 3. 絵本の中にどんなバリアがあるのか

- ① 「視覚表現」…視覚に不自由さのある方のために、字や絵を触れるようになっている本、点字付きの本、拡大絵本、色彩にコントラストがある本などがある。
- ② 「日本語という音声言語」…このバリアを超えるための本として、文字なし絵本、手話入り、ピクトグラム等の絵文字の本などがある。
- ③ 「認知情報の混乱」…場面、登場人物、時制がページごとに大きく動くと認知できない。
- ④ 「本の形態・構造」…ページに段差のある本やインデックス付きの本、布製などの形態・構造だと、手指の不自由さがあってもページをめくりやすい。

##### 4. これからは

- ・ 今後ますます多様な電子書籍が増える。
- ・ 特別仕様の絵本でなくてもバリアフリーの視点での読み聞かせはできる。FOR（その子のために）という視点から絵本へのアプローチを学んでほしい。
- ・ WITH（その子といっしょに読むという想い）を大切にしてほしい。



## ○ 演習（グループワーク）

会場内に展示された80冊を超えるバリアフリー絵本の中から1冊を選び、その絵本について読み合う活動を行いました。「読み合い」は以下のような方法で行われました。

- ・ 自己紹介をする。
  - ・ 3人一組のグループの中で、一人一人が「食材」となり、それぞれの食材を使って作ることができる料理を一品考える。（アイスブレイク）
  - ・ グループの中の代表者が選んだバリアフリー絵本を3人で読み合う。
  - ・ 選んだ絵本の「バリアフリー性」は何かを考える。
  - ・ 絵本の感想を述べ合う。
- ★ 研修会の中で、長年、ボランティアとして布の絵本を手作りし、図書館に寄贈している団体の方から、これまでの活動内容についてご紹介いただきました。



### 【参加者からの声】

- ・ 特別支援の視点から本について考える良い機会になりました。
- ・ バリアフリー絵本を通して、子どもたちだけでなく、絵本は大人も楽しめるものだと実感しました。
- ・ 今まで意識していなかったけれど、「ストーリーが複雑ではない本がよい」「絵がはっきりしていて見やすい方がよい」など、バリアフリー絵本にはそういう工夫があったのかと、参考になりました。また、演習の読み合いワークが楽しかった！
- ・ ディスレクシアの子どもに読書の楽しさを伝えたくて参加したのですが、様々な工夫がされている本があることを知り、私自身もっと多くの本に触れて勉強したいと思いました。
- ・ 一般的な読み聞かせボランティア以外で、布絵本を作成しているボランティアがあること。それが福島でさかんであることは誇りです。



## 第2部

11:20~15:20

### 情報交換

#### 「しゃべり場！ 読み聞かせあれこれ」

読書ボランティア団体に所属している方、学校司書、学校の先生などでグループになり、それぞれの立場から意見交換を行いました。

参加者は、日頃行っている読書活動の内容の紹介や、読書活動に関する疑問や悩みなどについて話したり、自分とは違う視点からの話を聞いたりすることで、読書活動のあり方について考えを深めていました。



### 【参加者からの声】

- ・ 「しゃべり場」では、経験豊富な先輩方のお話を聞くことができ、とても参考になりました。
- ・ 読み聞かせ活動をしている方々のお話を聞くことで、どのような本を選んで子どもたちに読み聞かせをしようかという選択肢が広がりました。
- ・ 自分が活動している地域以外の方といろいろな話をするのは、大変刺激になり、参考になりました。
- ・ 絵本や読み聞かせが大好きという人たちと、思いの共有や共感ができることはとても楽しく、参考になりました。

